

選択プログラムの紹介

音楽プログラム

音楽プログラムでは、季節に合わせたコンサートの開催に向け、ハンドベルの練習をしています。おひとりずつ担当のベルを持ち、一音ずつベルを鳴らして曲が完成します。1曲仕上がるごとに自然に拍手と歓声が湧き上がり、感動を味わえますよ。現在ドラマ大募集中です！



旅行プログラム

旅行グループ

12月17日にイオンモール福津の映画館に外出しました。

事前にメンバーで何回も話し合いを重ね…沢山悩んだ末、行き先を決定しました。皆さん久しぶりの映画館やお昼ご飯も各自好きなものを食べに行かれ、大満足な様子でした！



お散歩グループ

12月3日にサンリブ古賀店へバスで外出しました。

このグループのメンバーは単独での外出は練習中で、入所後初めて公共交通機関を使うという方も。

サンリブでは各々買い物をされ、とても充実した一日になりました！



農園芸プログラム報告

農園芸プログラムでは、中庭の畑と玄関前の花壇で野菜や花を育てています。今年の夏はととても暑く、畑での作業は体力との戦いでした。その苦労は報われず、野菜は思ったほど収穫できませんでした。残念に思っていました。夏を過ぎた頃にかぼちゃが実をつけはじめ、秋には小さなかぼちゃがたくさん収穫できました。これにはメンバー一同大喜び。そのかぼちゃを使った調理も楽しみました。現在はエンドウ豆や菜花、春咲きの花などを育成中です。四季を感じながら、みんなで協力しあって活動しています。



交通案内



- JR 鹿児島本線
 - ・千鳥駅下車
 - …千鳥パークタウン方面出口より徒歩約15分
 - …バスで約5分 (古賀特別支援学校高等部前下車)
 - ・古賀駅下車
 - …バスで約10分 (福岡東医療センター正門前下車)
 - …タクシーで約5分
- 西鉄バス(急行)
 - ・都市高速経由急行天神～赤間営業所
 - …天神日銀前から久保団地入口下車
 - 徒歩約10分
- 九州自動車道
 - ・古賀インターチェンジから約7分



FUKUOKA-REHACENTER
Instagram
QRコード



ホームページ
QRコード

福岡県障がい者リハビリテーションセンター

〒811-3113 福岡県古賀市千鳥3丁目1番1号 TEL 092-944-1041 FAX 092-944-0051
ホームページアドレス <https://www.fukuoka-rehacenter.or.jp/> メールアドレス toiawase@fukuoka-rehacenter.or.jp

とびうめ

第30号
2025.3



小さなかぼちゃが
たくさん収穫できました。



第44 リハビリセンター運動会・焼き芋会

令和6年10月26日、第44回 リハビリセンター運動会が開催されました。

本年は、ご来賓・ご家族・学生ボランティアをお招きし、開催いたしました。午前だけの開催ではありましたが、利用者の皆様と共に、ご来賓・ご家族・学生の方々にも競技に参加していただきたく、今年は競技種目を増やしました。

新たに導入した競技は、車椅子を使用した障害物リレー「蛇の道を進め」です。普段、車椅子を利用していない方々には、少々操作が難しかったようですが、皆さん上手に車椅子を乗りこなしていました。勝敗につきましては、引き分けでしたが、今年も白熱した運動会が開催できました。



ホク
ホク♪

運動会終了後は、理事長より提供していただいた、サツマイモを使用し、中庭で焼き芋会を催しました。じっくり時間を掛けて焼いたので、ほくほくで甘い焼き芋が完成しました。いつもは食事制限のため、食べる量が限られている利用者にも振る舞われ、あっつ熱のあま〜い焼き芋を皆さん口いっぱいほおぼり、おいしそうに食べられていました。

福岡県の「障がい者雇用の促進」にむけた、実証事業に参加

福岡県の取り組みとして障がい者雇用の促進に向けた、分身ロボ「Ori Hime」を活用して障がい者が遠隔で接客する物品販売会が8月に開催されました。

販売会の準備段階で、センター利用者が販売訓練を行う実証事業に参加し、参加した利用者は「お客さんからは自分の顔が見えないので緊張せず話げできた」、「その場に居るような感じで面白かった」、「色々な人と会話が出来て楽しかった」などと話していました。



～地域交流プログラム～《千鳥小学校総合学習》

千鳥小学校の総合学習の一環として毎年当センターに来所され、利用者との交流を図っています。今年も6月20日に当センター体育館において組体操、リコーダー演奏、クイズなどを披露していただきました。利用者の方もみなぎる若い力をもらい、良い交流の場になりました。千鳥小学校6年生の皆さん、ありがとうございました。

退所者の声

退所した利用者にも今の生活やセンターでの思い出をインタビューしました！



笠頭宏さんは2022年1月にセンターに入所されました。2024年1月に退所後、コルディアレ福岡農園で勤務されています。笠さんに現在の生活やお仕事について伺いました。

Q1. 現在どのような作業をしていますか？

コルディアレ福岡農園で働いています。勤務し始めて5ヵ月になりました。水耕栽培をしていて、濡らしたスポンジに種を置いていく作業や芽が出たら間引き、成長したら収穫までをしています。朝10時から、昼の休憩をはさんで夕方の4時までの勤務です。

Q2. お休みの日は何をして過ごしていますか？

漫画を買いに行ったり、公共交通機関を使ってショッピングモールに買い物に出かけることもあります。出かけずにグループホームで漫画を読んですごすこともあります。

Q3. センター生活の思い出はありますか？

春の縁日は食べ物もよかったけれど、ミニゲームが思い出に残っていてとても楽しかったです。今でも縁日のスタンプカードを持っています。それから農園芸プログラムでスイカが大きく育たなかったことが悔しかったです。だからコルディアレで何を育てたいか聞かれたときにすぐにスイカと言いました。スポーツプログラムでバドミントンをしたことや、障がい者スポーツ大会に出場したことも思い出です。

Q4. 今後の目標はありますか？

仕事には慣れてきました。でも、バスの乗り降りはもう少し慣れていないので、安全に通勤や出かけるためにも練習が必要だと思います。また、給料で本棚を増やして、好きな漫画をもっと買いたいです。



山本秀夫さんは脳出血を発症され、退院後の2020年5月に県リハセンターに入所されました。2023年4月にセンター退所後、障害者支援施設北九州フレンドに入所されました。今回は山本さんを訪問し、現在の生活やセンターでの思い出を伺いました。



Q1. 現在どのような作業をしていますか？

午前中は工場の検査シートを100枚ずつ数える作業をしています。午後はお菓子の箱の中敷きを折って、入れる作業をしています。どちらも集中力が必要です。

Q2. お休みの日は何をして過ごしていますか？

県リハセンターでもやっていた筋トレをリハビリを兼ねてやっています。ほかにもPCでエクセルの練習もしています。今のままで満足したくないので、もう少しスキルを身につけてステップアップしたいです。

Q3. センター生活の思い出はありますか？

県リハセンターで出会った元利用者とは今でも定期的に連絡をとっています。センターに入所していた時と変わらず楽しくやり取りをしています。それからセンターの運動会では仮装リレーに参加した時にスーパーサイヤ人の仮装をしたことをよく覚えています。作業療法でプラモデルを作ったのも思い出です。

Q4. 今後の目標はありますか？

身体の機能の維持はもちろん、なかなか難しいと思いますが通所・通院リハビリや筋トレで少しでもよくなったらと思います。少し前に親しくしていた人が闘病の末亡くなったのを聞いて、自分ももっと頑張らなきゃいけないと思うようになりました。今の施設の職員の方々に感謝もしています。だからもっとできることを増やしていきたいです。

